



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30~13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 杉原弘一郎 幹事 / 宮岡博就 会報 / 荒川圭三 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数76名 出席数 51名 欠席数 20名
 出席免除会員 5名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君)

出席率 73.68%

前回補正出席率 8/20 88.00% 8/6 86.84%

欠席者

芦立君、足立君、深田君、秦野(一)君、細田君、井上(雄)君、石井君、勝部君、小土井君、小西君、松本(啓)君、松波君、西村君、安井君、高林君、上森(英)君、上森(明)君、内田君、吉岡君、山中君

ビジター

メーカー

今週のお祝い

夫人誕生祝:10日松本啓君、新宮彦助君、15日赤木勇夫君、21日妹尾学君、30日藤尾信之君

スマイルBOX 22,000円(累計325,000円)

創立記念祝:高橋君、本人誕生祝:田中君、長棟君、荒川(雄)君、夫人誕生祝:赤木君、新宮君、藤尾君、9月5~9日の間、米子市美術館にてチャールズの展覧会をします。赤木、新宮と芦立先生の父上が出品します。時間のある方ご覧下さい:赤木君、新宮君、中海TVに出演させて頂きました:杉原君

会長挨拶

県内の東西格差。物凄いものがあります。例えば図書の購入費。私は現在役目から米子市図書館に関係しており本日も県の方とお話ししたのですが、15万米子市民に対して年間1400万円なのに対し鳥取市は1億3000万円。ガイナレ鳥取がホームグラウンドを鳥取市に移したのもJ2に昇格した場合に米子市立の東山のグラウンドでは認めて貰えないからです。布施陸上競技場は県立です。米子コンベンションセンター、建築費も運営費も県の持ち分は2分の1、残りは地元の出費です。一方、県立の鳥取梨花ホールは、100%県が出費です。県立美術館の建設構想は現在凍結されていますが、鳥取には県立博物館が在る。米子市立美術館は貧しくて、美術館講演会が募金を集めて絵画を購入しても「要りません」。狭くて展示するスペースが無いからです。この美術館予算の3分の1を頂いて、淀江の庁舎に美術館と図書館を整備することを9月6日に知事を招いて開催する文化講演会で私は訴えるつもりです。ぜひ皆さんご出席お願いします。

幹事報告

1.9月のロータリーレート通知
108円/ドル

2.例会変更通知

鳥取西RC 9月5日(金) 9/4夜間例会
ビジター受付あり

鳥取北RC 9月16日(火) 夜間例会
23日(火) 休会

ビジター受付は9/16のみ



MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

プログラム

「新年度運営方針」

会員増強・維持理事 新納哲雄君

日本のロータリー会員数は10年程前に13万人を超えていましたが、現在は10万人を切っており、どのロータリークラブもピーク時の3割減のようです。2690地区の中で会員数が最大である(150～155名)岡山南RCの渡辺会長も今年度クラブ運営で一番難しいのは会員増強・維持になると云っておられます。会員増強委員会としては純増一名を目指して、まず退会防止に努めようと思います。そして会員一人が1名推薦をお願いします。川柳:「増強の二文字が重いロータリー」

クラブ広報理事 荒川圭三君

週報の発行を継続し「ロータリーへの想い」欄を再開しようと思っています。対外的には一般の方々へロータリークラブの活動周知を図って行こうと思います。現在、野坂裕一会員にお世話になって卓話を収録して中海テレビで放映していただく予定です。クラブホームページの更新します。皆様のご協力をお願いいたします。

クラブ管理運営理事 赤木勇夫君

ロータリーを大きな樹木に問えれば四大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)は枝葉であって、理念とクラブ運営方針は幹です。クラブ運営は根であり、しっかりしないと幹や枝葉が育たないと鳥居ガバナーは仰っています。杉原会長より「元気なクラブ運営」を指示され、高橋リーダーの下プログラムは「水」をテーマに、親睦は長棟リーダーを中心として様変わりして楽しい例会に取り組んでいただいています。出席委員会は補正90%、ホーム出席75%の会長方針実現に向け、新しい取り組みとして出席率ランキング表を作成しました。最後に机に眠っている出席100%記念バッジのご寄付をお願いします。

奉仕プロジェクト理事 岩崎 浩君

従来はそれぞれに理事がいらした職業奉仕・社会奉仕・インターアクト・新世代奉仕・国際奉仕を纏めて奉仕プロジェクトが活動します。基本的には同じ目標「水」「環境保全」をテーマに、後々まで恩恵が残される子供たちに光を当てて行こうと思っています。今年度は植樹を実施。「夢をかたちに」をテーマに中学生を対象とした作文コンクールを再開します。米子松蔭インターアクトクラブのホストとして中海アダプトと連携しながら清掃活動を行います。韓国との青少年の交流を委員会のほうで進めているところです。

ロータリー財団理事 北沢 薫君

今年度の米子東ロータリークラブの目標は昨年と同じです。全会員が一人140ドル。ベネファクターを一人以上。PHF・MPHFを二名以上。例会の受付でも財団寄付を受け付けています。毎月その月のロータリーレポートを報告します。現況のお知らせもいたします。

SAA 種田 進君

杉原会長の方針で食事開始時間を早める例会時間割の変更をホテルの方の大変なご協力も頂いて始めています。如何に時間内に例会を納めるかが私の役目ですが、皆様の協力を頂いて今後もスムーズな例会進行を目指してゆきたいと思います。今年頭初に私の会社の従業員に「感謝」と「感動」について話しました。SAAとして会員の皆様に対しても「感謝」と「感動」を持ち続けて行きたいと思います。

ロータリーへの想い

新納哲雄君

三年前、長い間の念願だった屋久島の縄文杉を見ってきました。どしゃぶりの雨と雷の中。7200年の風雷に耐えてきた縄文杉の姿に出会った瞬間は言葉では言い尽くせないほどの感動！またここまで登山が出来たという達成感は大変なものでした(上り5時間・下り4時間)。今でも目を閉じると縄文杉の厳しい顔が浮かんできます。人生は短く、自然は素晴らしく、そして長いと感じました。今年も5月に前回行けなかった所を中心に屋久島の自

然を満喫。

ロータリーは毎年新しい年度になればRI会長からテーマが出され、目標が設定されます。我々会員は目標のテーマに沿ってひたすら考え、行動します。山登りも前の頂上という目標に向かって一步一步登り続ければ、やがてすばらしい達成感が得られます。

我々は生きている限り、大きくても小さくても目標に向かって少しずつ今日より明日へと前進し成長しなくてはなりません。

次回プログラム

9月3日 「ロータリーの友紹介」

雑誌リーダー 芦立久君

「私の職業」 今出 上君、足立博俊君、

9月10日 「私の人生の歩き方」

元カトウ商事(株)社長 加藤正雄君

17日 観月例会